

KOKUJUN Press

8 国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center

2023
vol.50

おかげさまで創刊50号

The collage consists of 50 individual magazine covers, each representing a different department or research center at the National Cerebral and Cardiovascular Center. The covers are arranged in a grid and numbered 01 through 50. Each cover features a photograph of the department's staff and a headline. The central text 'おかげさまで創刊50号' is overlaid on the collage.

01 小児循環器科
02 脳神経外科
03 血管外科
04 周産期・婦人科
05 脳循環科
06 脳血管内科
07 脳血管・脳神経内
08 脳神経内
09 脳神経外科
10 脳神経外科
11 脳神経外科
12 脳神経外科
13 脳神経外科
14 脳神経外科
15 小児心臓外科
16 脳神経外科
17 糖尿病・代謝内科
18 脳神経外科
19 不整脈科
20 脳神経外科
21 小児循環器科
22 心臓移植科
23 理事長・病院長
24 周産期・婦人科部
25 消化器・腎臓科
26 消化器・腎臓科
27 脳神経外科
28 循環器救急
29 血管外科
30 予防健診部
31 脳血管内科・脳神経内科
32 動脈硬化・糖尿病内科
33 心臓外科
34 放射線部
35 循環器科
36 誕生
37 誕生
38 病院長就任
39 心臓外科
40 周産期医療
41 循環器病
42 循環器病
43 理事長就任
44 チームで挑む
45 遺伝学的検査
46 成人先天性心疾患外来
47 再生医療センター
48 再生医療センター
49 再生医療センター
50 再生医療センター

特集 脳神経内科



遺伝性脳卒中や若年性認知症の原因となるCADASIL外来を開設

日本初、CADASIL (カダシル) を専門とする外来

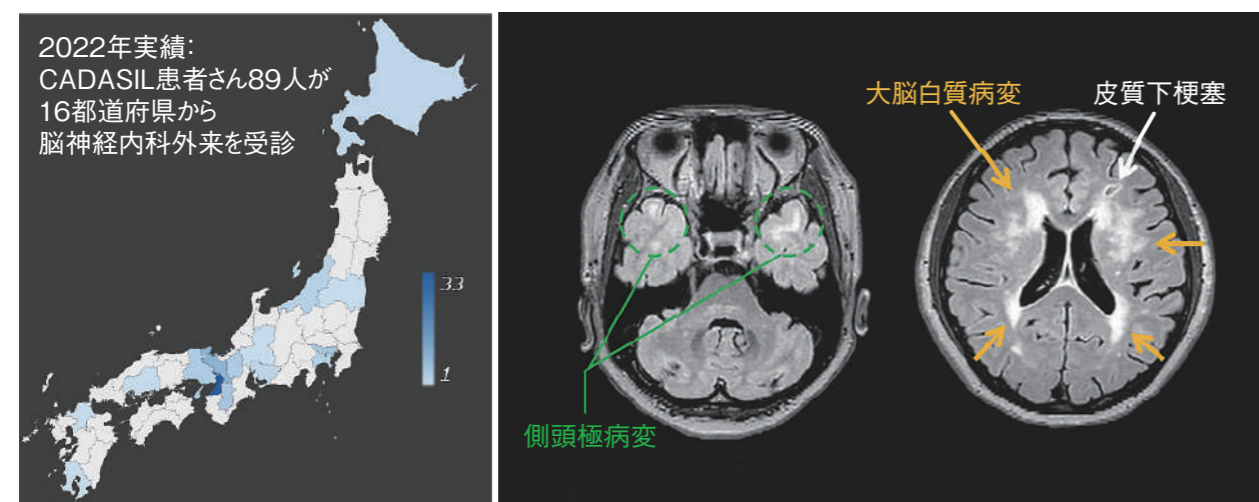
- 豊富な診療経験に基づく正確なアドバイス
- 国循主導の先進医療や治験など、最新研究成果の情報提供
- CADASILの患者さんやご家族の方を対象とした定期的な勉強会「国循CADASIL知ってる会」のご案内

脳神経内科部では、2022年11月から毎週水曜日午後、**CADASIL(皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症)**の患者さんを対象とした、CADASIL外来を開設しています。**CADASILは非常に頻度の少ない希少難病**であるため、これまでCADASILの患者さんが地域の中核病院を受診しても、豊富な診療経験を有する医師の診察を受けることが極めて困難でした。

しかしながら、国立循環器病研究センター・脳神経内

科部には、2023年1月時点で約90名のCADASILの患者さんが定期的に来院されており、**世界でも有数のCADASIL診療実績**を有しております(図1)。これまでの診療経験を強みとして、より正確で的確なCADASIL診療が可能となりましたので、この度日本全国のCADASILの患者さんの受診を容易とするため、日本初のCADASIL外来を開設するに至りました。

図1 CADASILの患者さんのMRI画像



CADASIL外来では、豊富なCADASIL診療経験を有する医師が診療を担当します。他院でCADASILと診断された方はもちろん、CADASILが疑われているものの、未だ診断の確定に至っていない方などの受診も可能です。受診には当院宛での紹介状が必要となり、当センターの専門医療連携室からの予約を通じて受診頂きます。

さらに脳神経内科部では、CADASILの患者さんを対象とした勉強会「**国循CADASIL知ってる会**」を定期的で開催しています。脳神経内科部ではCADASILの患者さんと協働してこの難病に立ち向かい、新たな治療法の開発を日々探究しています。

AMED難治性疾患実用化研究事業
AMCAD治験中間報告会

国循CADASIL知ってる会

患者さんや家族の方を対象とした
CADASILについての勉強会です

<内容>
・CADASILについて
・AMCAD治験で今までに分かったこと
・患者さんからの質問に医師たちがお答えします

開催日時
2023年3月12日(日)
13:30~15:30
事前の参加申し込みが必要
必要です(参加費無料)

私たちがお話しします。

お問い合わせ・
申込はこちらへ↓

会場：
大阪国際空港(伊丹空港)
北ターミナル4階 会議室 星の間
大阪府豊中市鉾池西町3丁目555 JAL側です

「国循CADASIL知ってる会」
勉強会開催ポスター→



脳神経内科 部長
猪原 匡史
Masafumi Ihara
(専門領域)
脳血管障害と認知症の臨床および研究
(専門資格等)
日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医
日本内科学会認定総合内科専門医
米国内科学会上級会員 (FACP)
日本認知症学会専門医



脳神経内科 医師
齊藤 聡
Satoshi Saito
(専門領域)
臨床神経学
(特にCADASIL・脳アミロイド血管症)
(専門資格等)
日本神経学会専門医・指導医
日本脳卒中学会専門医・指導医
日本認知症学会専門医・指導医

特集

脳血管内科



わが国の脳卒中診療をリードする エキスパートによる多職種チーム診療

脳卒中多職種チーム診療のポイント

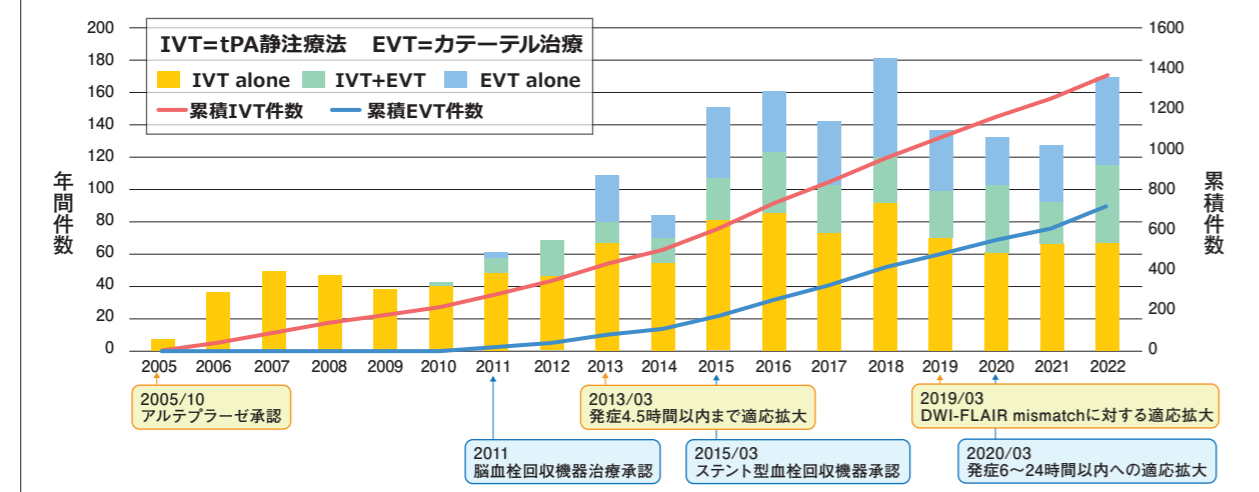
- 脳卒中の良好な経過には、迅速な受診、診断、治療が重要
- 最新の医療システムで迅速な急性期脳卒中診療を行い転帰改善につなげている
- 脳卒中集中治療室でエキスパートによる多職種チーム診療を行っている
- 専門的な看護、急性期リハビリテーション、嚥下機能評価などにより身体機能回復促進、肺炎や褥瘡などの合併症予防を実践
- 回復期施設やかかりつけ医を含む地域の医療施設と緊密に連携して回復期リハビリテーション、血管危険因子管理、再発予防薬管理を実施
- 医師、看護師、リハビリテーションスタッフ、MSWなどで入院した脳卒中患者さんの困りごとを解決

脳卒中の約7割を占める脳梗塞は治療で回復する病気になり、日本脳卒中データバンクの研究から最近20年間で退院時の経過が改善していることが明らかになりました。これはtPA静注療法やカテーテル治療(血栓回収療法)による再灌流療法の進歩(図)によるものと考えられます。

再灌流療法を出来るだけ早期に開始することでより転帰の改善が期待出来ます。当センターは日本脳卒中学会が認定する一次脳卒中センターコア施設として24時間365日いつでも再灌流療法を行っており、地域

の一次脳卒中センターとも連携して大阪北部を中心とした脳卒中救急診療を担っています。早期に受診するためには患者さんやご家族が脳卒中に気づくことが重要で、半身の脱力や言葉の問題などが起こればすぐに救急車をよんで受診するように啓発しています。また、救急隊と連携してホットライン(緊急担当医との直通電話)で速やかな受け入れを行っています。症状によってはかかりつけ医に相談することも少なくありませんのでかかりつけ医からのホットラインも受け入れています。

図. 当院での再灌流療法人件数



2019年7月に移転した当センターは1階の救急外来にCTやMRIを備えた放射線部と血栓回収療法を行う血管造影室が隣接し、来院後に速やかに診断と治療を開始できる最新の医療システムを構築しています。また、同じフロアには脳卒中集中治療室(Stroke Care Unit)があり、医師、看護師、薬剤師、リハビリテーションスタッフ、栄養士などのエキスパートによる多職種チーム診療を行っています。

当センターは1978年から脳卒中集中治療室を運用開始し多職種チーム診療を培ってきました。脳卒中患者は意識障害、失語症、認知症などを伴い、コミュニケーションや神経学的評価が難しいことも少なくありません。

出血性梗塞や脳梗塞再発などによる増悪、痙攣発作、肺炎の合併、褥瘡の合併などに注意が必要です。

また、脳神経外科とタッグを組んで緊急の外科治療にも対応しています。入院当日からの嚥下機能評価、栄養状態評価を行い、早期からベッドサイドリハビリテーションを開始して機能回復につなげています。

病状が安定し、再発予防方針が決定したらMSWと協力して回復期リハビリテーションや自宅退院に繋がっています。脳卒中を疑ったらホットラインなどを活用してご相談下さい。また、初診外来では頸動脈狭窄症や失神(気絶)の精査目的での紹介も受け付けていますのでお気軽にご相談下さい。



脳血管内科 部長

古賀 政利 Masatoshi Koga

〈専門領域〉

脳血管障害、脳神経内科学、脳神経超音波検査

〈専門資格等〉

日本神経学会専門医・指導医・代議員、日本脳卒中学会専門医・指導医・代議員・幹事

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本神経超音波学会理事・脳神経超音波検査士

日本栓子検出と治療学会理事、日本心血管脳卒中学会評議員

欧州脳卒中学会(ESO)特別正会員(Fellow)、関西医科大学脳神経内科学臨床教授

新任部長紹介

心不全パンデミックの今、先進医療と地域連携の強化に取り組んでまいります

心不全部部長 北井 豪 (きたい たけし)

心不全部 ▶

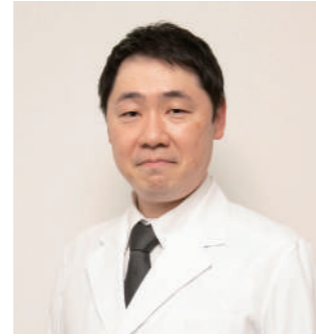


2023年2月1日付けで、国立循環器病研究センター心不全・移植部門 心不全部部長に着任いたしました 北井 豪 と申します。

社会の高齢化に伴い、心不全患者、特に高齢心不全患者の増加は、**心不全パンデミック**とも呼ばれ、もはや社会的に大きな問題となっています。心不全診療が抱える問題は数多くありますが、ここ数年で治療面では大きな進歩がみられ、心不全の薬物療法も大きく変化してきました。従来のβ遮断薬、ACE阻害薬/ARB、MRAに加えて、ARNIやSGLT2阻害薬、イバブラジン、ペリリングアートなど新規治療薬が登場し、どの患者さんにどの薬剤をどの程度処方するか、より専門的な判断が必要です。また、**これまで外科手術が必要であった重症弁膜症に対しても、TAVIやMitraClipなどのカテーテル治療が可能となりました。**不整脈による突然死予防のためのICDや、心臓再同期療法(CRT/CRTD)の適応も十分に考えなければなりません。さらに、重症心不全患者に対しては、上記の薬物療法・非薬物療法が最適に行われているかということを再度見直すことに加えて、補助人工心臓や心臓移植などの高度医療、または心筋再生医療など今後に期待される治療も選択肢となります。**国循心不全・移植部門では、個々の患者さんの病態・重症度・背景に合わせて、これらの治療を最適に選択し、集学的治療を進めて参ります。**

しかしながら、専門的な知識が求められる一方で、心不全パンデミックを迎えた現在、心不全は専門家だけが診療する時代ではなく、専門医と非専門医とのより綿密な連携が求められています。また、フレイル・サルコペニア・認知症など、特に高齢者では、これらの高度医療が適応になりにくい患者さんも数多くおられます。国循心不全部では、これらの高度治療の選択肢がない患者さんに対してのアプローチも積極的に行っており、アドバンスケアプランニング(ACP)や、症状緩和・QOL向上を目指した緩和ケアにも力を入れています。生命予後改善(寿命の延伸)のみならず、QOLが保たれた生命予後改善(健康寿命の延伸)に取り組み、一人一人の患者さんの病状・生活背景に合わせて、治療の選択肢を考えます。この取り組みは、国循だけでは完結せず、回復期病院や実地医家(かかりつけ医)・訪問看護ステーションの皆さんと力を合わせた、地域連携の強化が必須です。

国循の使命でもある先進医療を邁進しつつ、これまで以上に皆様との連携を深め、地域に貢献できる病院でありたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。



Profile

- 2004年 大阪市立大学医学部医学科卒業
- 2004年 神戸市立医療センター中央市民病院 初期研修医
- 2006年 神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科
- 2011年 京都大学大学院医学系研究科 医学博士
- 2013年 神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科 副医長
- 2015年 米国クリーブランドクリニック 循環器内科客員研究員
- 2018年 神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科 医長、循環器集中治療室(CCU)室長、救急部副部長(兼任)
- 2021年 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長
- 2023年 国立循環器病研究センター 心不全部 部長

〈専門領域〉

心不全/心筋症、循環器集中治療、弁膜症、SHDカテーテルインターベンション、心エコー、画像診断

〈専門医資格〉

- 京都大学医学博士
- 日本内科学会総合内科専門医・指導医
- 日本循環器学会専門医
- ヨーロッパ心臓病学会特別正会員(FESC)
- アメリカ心不全学会特別正会員(FHFSA)
- 日本超音波学会専門医
- 日本心エコー図学会心エコー専門医
- SHD心エコー図認証医
- 日本心血管インターベンション学会認定医
- 日本脈管学会専門医
- 日本心臓リハビリテーション学会認定指導医

連携医 Board

連携医療機関からのお知らせ

内科・脳神経内科 医療法人 かわかみ内科

院長 川上 英孝 先生

URL <https://kawakami-naika.net/>



病院ホームページ

【診療科目】

内科、脳神経内科

【所在地】

〒564-0002 大阪府吹田市岸部中3-14-5-201

【TEL】06-6330-9000

【アクセス】JR岸辺駅北口から吹田方面に徒歩4分

【駐車場】あり4台

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後 17:00~20:00	○	/	○	○	/	○	/

【休診日】火曜午後、金曜午後、日曜、祝日

当院には歩いて訪れる脳梗塞急性期のかたや、ふらふらになって訪れる心不全急性増悪や肺塞栓発症のかたが少なくなく、国立循環器病研究センター(以下、国循C)の先生にはその都度助けていただいております。一部の患者さんは国循Cに直接行くには判断がつかねるといふことで一旦当院を受診されますが、当方が診断に迷う例であったとしてもいつでもためらいなく、直ちに受け入れてくださいます。この近接性、包括性、および責任性は地域医療の一部を担う我々にとってとても頼りがいのある存在であり、国循Cの卓越した素晴らしさを常々感じるところであります。これからも地域医療連携構築のため尽力させていただきます。



かるしお®クッキング

一品料理 レシピ



かるしおとは、「塩をかるく使って美味しさを引き出す」減塩の新しい考え方です。

「かるしおプロジェクト」ホームページ ▶



ビシソワーズ

1人分エネルギー
67kcal
食塩相当量
0.26g

● 下準備

- ①じゃがいもは水で洗い皮を剥き5mm厚のイチョウに切る。
- ②たまねぎは薄切りにする。
- ③トマトは湯剥きにし5mm角のダイスに切る。
- ④パセリは葉の部分をミジンに切り、ガーゼで包み冷水でもみ洗いし水気をしっかり切る。

● 作り方

- ①鍋にオリーブ油2gを入れたまねぎを色付かない様に弱火でしんなりするまでしっかりと炒める。
- ②しんなりしたらじゃがいもを加え半透明になるまで炒める。
- ③牛乳、水、コンソメ、食塩を加えじゃがいもが煮崩れる位まで煮る。
- ④ミキサー又はミルサーで十分にミキシング後、弱火で焦がさないように混ぜ生クリームを加えたのち火を止める。
- ⑤粗熱をとったスープを冷蔵庫で冷やす。
- ⑥冷やしたスープを器に入れ、トマト、オリーブ油を盛り付け、仕上げにパセリを散らす。

● 材料(2人分)

じゃがいも	50g	食塩	0.2g
たまねぎ	50g	水	50g
牛乳	10g	トマト	10g
生クリーム	10g	パセリ(生)	0.2g
オリーブ油	2g	オリーブ油	2g
コンソメ	1.4g		



特殊外来紹介

頸動脈狭窄症外来

内頸動脈狭窄による脳梗塞は適切な内科治療、外科治療で予防可能です。脳内科で初診を受け付け脳神経外科と協力し総合的な評価を行い、正確な診断と最適な治療選択を行います。

■ 外来日：毎週水曜日、木曜日（原則）



頸動脈狭窄症外来

ボトックス外来

ボツリヌス療法（ボトックス注射）は、脳卒中後の上肢・下肢の痙縮の軽減、関節可動域の増加、および日常生活上の介助量の軽減や、眼瞼痙攣/片側顔面痙攣の症状へ有効であるとされています。

■ 外来日：毎週水曜日・木曜日午後（原則）



ボトックス外来

弁膜症クリニック

弁膜症を有する患者さんに専門的な知識と先進的な検査を駆使し、正確な診断とより良い治療を提供しております。

■ 外来日：月曜日～金曜日



弁膜症クリニック

心筋症外来

心筋症は早期に診断を行い病気に応じた適切な治療を行うことで、患者さんの予後を改善させることができます。

■ 外来日：月曜日～金曜日



心筋症外来

患者さんの紹介方法

国循公式ホームページ「医療関係者の皆様へ」をご確認ください。
※受診の際はかかりつけ医からの紹介状が必要です。



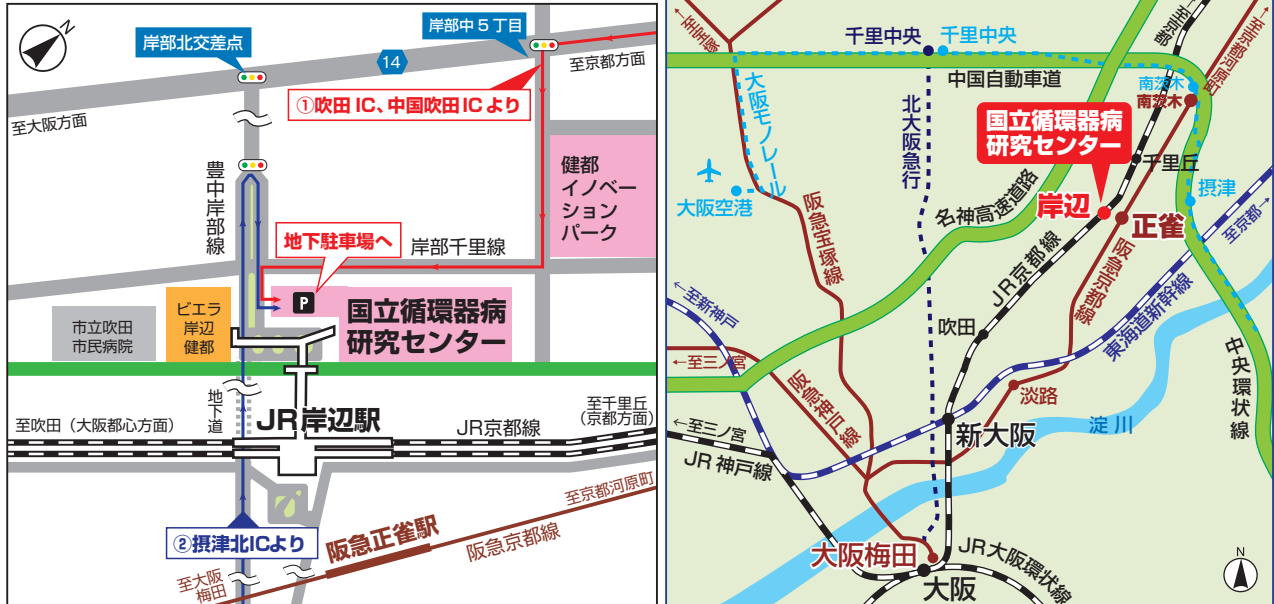
患者さんの紹介方法

■ 電車利用の場合

- JR 大阪駅・新大阪駅・京都駅から JR 京都線「岸辺」駅より約 300m（連絡通路で直結）
- 阪急大阪梅田駅・京都河原町駅から 阪急京都線「正雀」駅より約 800m

■ 自動車利用の場合

- 名神高速道路「吹田 IC」より約 6 km ● 中国自動車道「中国吹田 IC」より約 6 km ● 近畿自動車道「摂津北 IC」より約 10km



■ センター住所 〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6 番 1 号

国立循環器病研究センター理念

私たちは、国民の健康と幸福のため、高度専門医療研究センターとして循環器疾患の究明と制圧に挑みます。

基本方針

- 1 循環器病のモデル医療や世界の先端に立つ高度先駆的医療を提供します。
- 2 透明性と高い倫理性に基づいた安全で質の高い医療を実現します。
- 3 研究所と病院が一体となって循環器病の最先端の研究を推進します。
- 4 循環器病医療にかかわるさまざまな専門家とリーダーを育成します。
- 5 全職員が誇りとやりがいを持って働ける環境づくりを実践します。

